埼玉県電業協会広報誌

第216号
令和8年11月1日発行

彩の耀
さいのかがやき

一般社団法人 埼玉県電業協会
耀け 埼玉 埼電協!
～2030年に向けて持続可能な開発目標～

発行所 一般社団法人 埼玉県電業協会
発行人 積田優
編集人 総務・広報委員会
（委員長　橋本幹男）
事務局 〒336-0031　さいたま市南区鹿手袋4-1-7(建産連会館内)
https://www.saidenkyo.jp/ E-Mail kyokai@saidenkyo.jp
TEL 048(864)0385
編　集 日本工業経済新聞社（埼玉建設新聞）

無事故無災害の決意共有
令和8年度安全大会

7月3日、2026年度の安全大会を埼玉建産連研修センターで東日本建設業保証埼玉支店との共催で開催しました。およそ70人が集まり、安全意識を高め、無事故無災害の現場づくりを再確認しました。その中で優秀安全管理者表彰５人が表彰されました。

協会では、労働災害防止に取り組み、日々の業務の中で安全をより身近に感じられるよう、安全大会を開催しています。積田会長は「変わることがないのは、働く環境の安全確保と働く人の命と健康を守ること。安全が全てに優先する気持ちを毎日持ち続けることだと思っています」と呼び掛けた。



優秀安全管理者表彰受賞者



安全衛生に関する訓示を行う
埼玉労働局の川又課長

続いて、安全衛生に関する訓示を、埼玉労働局労働基準部健康安全課の川又裕子課長が行いました。川又課長は昨年の埼玉県内における労働災害発生状況を説明されました。

安全講話は、建設経営サービス提携講師の武田みはる氏が「色でつくる安全文化とゼロ災害職場～安心と安全を支える色彩戦略～」をテーマに行いました。

スローガン「多様な人材　全員参加　みんなで育てる安全職場」を、事故防止対策委員会の矢嶋委員長が読み上げ、参加者全員で唱和し、安全への意識を高めました。

優秀安全管理者表彰一覧（敬称略）	
毛塚電気工事	五十嵐 満
富士電気工業	佐々木 慶
お　ぎ　で　ん	雨宮 健次
高山電設工業	赤沼 昭洋
熊　谷　電　機	茂木 憲二

初の災害対応図上訓練実施
対応力確認し協定実効性高める

9月14日、有事における電気設備の災害対応図上訓練を初めて実施しました。災害発生から復旧対応完了までの工程を想定した電話と電子メールを使った情報伝達訓練で、各地情報収集施設における停電確認や高圧気中負荷開閉器（PAS）の故障対応を想定した訓練を行いました。

協会では、県と災害時における電気設備等の応急対応業務に関する協定を締結していることから、訓練を通じて発災時の対応力を確認するとともに、協定の実効性を高めることが目的です。


メール等を確認する
積田本部長㊧と橋本副委員長

訓練は、茨城県南部地震発生により、埼玉県南部・東部でも震度６弱の揺れを観測、県から協会へ協定に基づく災害対応業務の協力を要請されたと想定して行いました。協会事務局に積田会長を本部長とする災害対策本部を設置し、Zoomで各対策支部長に本部設置と協力を依頼。矢嶋委員長が訓練内容と流れを説明し、橋本副委員長の号令とともに訓練を開始。対策本部からさいたま、東部、西部、南部、北部の各支部の対策支部長へ出動要請を依頼し、その後、対策支部長は支部内の各班と対応者を決め、対応者は被害箇所の報告やPASの在庫対応連絡等を実施。その後、対応者から対策支部、本部へ対応完了を報告。訓練後にはZoomで訓練を振り返りました。


対策支部に電話をする矢嶋委員長

埼玉県電業協会
50周年記念誌

当協会50周年記念誌をデジタル発行いたしました。
二次元コードを読み込みご覧ください。
パソコンからはhttps://d.quel.jp/13983824をブラウザのアドレスバーに入力してください。

みんなで輝かせる 魅力あるまち東松山



東松山市長　松坂　喜浩

一般社団法人埼玉県電業協会の皆様におかれましては、日頃から電気設備産業の健全な発展に努められ、電力の安定供給や災害時の対応など、あらゆる場面で私たちの暮らしと地域経済を支えていただいておりますことに、心から敬意と感謝の意を表します。

私は、去る７月12日に行われました東松山市長選挙におきまして、市民の皆様から大きな負託を受け、市政を担わせていただくことになりました。「あなたとつくる未来の市政」を合言葉に、市民目線の市政を進めてまいります。

東松山市は、埼玉県のほぼ中央に位置し、比企地域の中心都市として発展してきました。関越自動車道のインターチェンジのある交通の要衝であり、「日本スリーデーマーチ」や「埼玉県こども動物自然公園」、名物の「やきとり」など、市内外の多くの方に親しまれる魅力にあふれています。

一方で、人口減少と少子高齢化、物価高騰、激甚化する自然災害など、自治体を取り巻く環境は大きく変化しております。これらに対応するため、「市民目線の市政」として基本政策を掲げました。その主な内容をご紹介します。

１点目は、「市民がつくるみんなの市政」です。市内７か所の活動センターを定期的に訪れる「移動市長室」を開設し、市民の皆様と直接対話する機会を設けています。また、事業の再点検や市有財産の有効活用により行財政を常に見直すとともに、地域医療の要である市民病院のあるべき姿を再考し、経営改善と救急医療体制の充実を図ってまいります。

２点目は、「安心して暮らし続けられるまちづくり」です。激甚化する自然災害に備え、埼玉県と連携して東部土地区画整理地域の冠水被害対策を進めてまいります。あわせて、AIオンデマンド交通など新しい公共交通の導入を研究し、誰もが移動しやすい環境整備に取り組みます。さらに、子育て・教育では、放課後児童対策の全校展開や、中学校給食費の無償化に取り組んでまいります。

３点目は、「地域経済の活性化」です。駅周辺の整備と商店街の空洞化対策を進めるとともに、民間事業者と連携し、まちなかの再生と賑わいの創出に努めてまいります。企業誘致では、業種や業態を限定せず、土地利用の条件等を勘案しながら進め、また優良田園住宅制度を取り入れた「農ある暮らし」の促進や、フィルムファクトリーを活用したロケ地誘致を推めてまいります。

そして、これらを貫くのが、「東松山版スーパー・シティプロジェクト」です。人口減少・少子高齢化の中でも持続的に活力ある東松山市を築くため、埼玉県との太いパイプを活かし、県が進めるスーパー・シティプロジェクトを推進してまいります。

こうした施策を多くの方々と協力して着実に進め、「みんなで輝かせる　魅力あるまち東松山」の実現へ全力を注いでまいりますので、貴協会の皆様におかれましても、市政運営に対し、地域を支える頼もしいパートナーとして、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人埼玉県電業協会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。

主要事業

企業対策セミナー

第2回 県教育局施設整備や入契制度学ぶ

８月５日、本年度第２回目の企業対策セミナーを、(一社）埼玉県空調衛生設備協会と合同により埼玉県男女共同参画推進センターで開催しました。会場にはそれぞれの協会から30人ずつ、合わせて60人が集まり、県教育局の施設整備や国・県の入札契約制度の最新動向について認識を深めました。

セミナーは２部構成。第１部の県教育局の施設整備については、県財務課施設整備担当の和田正一郎副課長と高橋光輝主幹が、本年度の施設整備内容を説明しました。続いて、公共建築工事積算基準等の改定と建設業の働き方を、県建設管理課の大野実希子主幹が説明し、その中で７月から改定された県建築工事の共通費と標準単価の積算基準が「見直しにより全体的に上昇している」と述べました。

第２部は、入札契約制度等について、関東地方整備局営繕部官庁施設管理官の田中幸一氏が説明。営繕工事における働き方改革や、円滑な施工確保に向けた局の主な取り組み等を紹介しました。


県の担当者が説明されました

第3回 AI・外国人高度技術者テーマに

９月29日、埼玉建産連研修センターで本年度３回目となる企業対策セミナーを開催しました。

セミナーには会員企業からおよそ30人が参加しました。冒頭のあいさつで佐野副会長は、ＡＩやＤＸ、外国人高度技術者をこれまで複数回テーマとして実施していることについて「会員企業が発展していくためには、今われわれに足りていないものを補完する必要がある。ＡＩについては、吉村企業対策委員長が講師を務めるが、同じ業界内の身近で使っている人の使用方法を聞くことで、自社のツールとして使いこなすための手がかりになる。それぞれ会社に持ち帰って活用し、人手不足の中で業務を効率化する方法を考えてほしい」と有意義なセミナーとなるよう期待しました。


多くの参加者が集まりました

講演は第１部で、「建設ディレクター×生成ＡＩ」をテーマに（一社）中小企業ＡＩ推進協会理事である吉村委員長は、建設ディレクターの行う業務や導入効果、生成ＡＩで何が補助できるかを説明した後、Claude Codeで図面から積算表を作る実演も行いました。また埼玉県産業振興公社のＤＸ推進グループからは情報提供も行われました。

第２部では、ＮＡＰの田口芳弘代表理事が「外国人高度技術者採用の具体的な情報」をテーマに講演。その中で、本年度第１回セミナー参加者のアンケートに記載された質問に答え、会員が抱えている課題で協力できることや対応策を説明しました。

新入社員フォローアップ研修

７月９日と10日の２日間、新入社員フォローアップ研修を埼玉建産連研修センターで開きました。

研修には会員企業に入社した中から24人が参加しました。

初日の冒頭、人材育成委員会の島村委員長は「この研修は、皆さまがこれから活躍していく中で役立つ内容となっていますので、有意義な機会としてほしい」と呼び掛けました。

初日は、仕事の基本・確認やコミュニケーションのポイントを学びました。オリエンテーション後のグループに分かれた自己紹介では、入社から今日までを振り返り、それぞれ感想や意見を発表しました。２日目は電気技術講習として午前にパナソニックが配線器具と照明器具について、ネグロス電工はタフロック講習を行いました。午後は、関電工から講師を招き、日本電設工業協会の講習会メニューでもある新人教育「電気設備」について電気設備の基本を学ぶ座学を行い、受講者には最後に修了証が手渡されました。


グループに分かれて自己紹介する

目指せ合格！受験準備講習会開催

第二種電気工事士技能試験

第二種電気工事士技能試験の受験準備講習会を、７月８日と15日に建産連研修センターで行いました。

この講習会は、技能試験の高い合格率を目標とした２日間コースの短期講座です。個人別に技能指導を実施しながら、実践的な技能を習得して、技能試験に合格できるようカリキュラムを構成しています。

講座には11人が出席しました。初日はオリエンテーションの後に技能試験の基礎知識を学んだ後、公表問題の実習を行いました。２日目も公表問題を行った後、講師が実習内容を評価して、技能試験に向けて判定基準や注意事項を示しました。



消防設備士甲種第4類

消防設備士甲種第４類受験準備講習会を、７月16日と17日の２日間、建産連研修センターで開き、18人が参加しました。講師はＳＥＥＤＯの関根康明氏が務め、１日目に電気に関する基礎的知識や全類共通と４類の消防関係法令、消防用設備等の構造・機能・工事・整備を学び、２日目は鑑別、機器の試験や設計･製図を行い、最後に問題演習を行いました。



第一種電気工事士筆記試験

第一種電気工事士の筆記試験受験準備講習会を８月27日を初日に、９月２日、10日、17日、24日の５日間の日程で、建産連研修センターで開催しました。講師は、ケイ・教育企画サポート事務所の茂木次郎氏が務め、参加した９人がカリキュラムに沿った講義を受けたほか、過去に出題された試験問題に取り組み、筆記試験を突破するための指導を受けました。

初日は資格と筆記試験の概要、試験への取り組み方法を説明した後、高圧受電設備の講義を行いました。２日目は高圧施設の施工法、電動機制御回路。３日目は低圧屋内線配線工事、電気応用と電気機器。４日目は自家用電気工作物の検査と発電・送電・変電設備、保安に関する法令を、最終５日目は電気理論と配線設計を学びました。それぞれ午前中に座学を、午後に過去問題など模擬試験を行い、採点や解説･評価を受けました。



1級電気工事施工管理技術検定第2次検定

１級電気工事施工管理技術検定の第２次検定受験準備講習会を９月18日、25日、10月２日、10月９日の４日間に渡り、９人が参加して建産連研修センターで開きました。

講師は、ケイ・教育企画サポート事務所の小泉一夫氏が務めました。初日はガイダンスとして、検定試験の概要や試験の出題範囲、記述回答書の作成方法、施工経験記述の作成方法、用語の定義･工程管理問題の解答方法、試験日までの学習方法を説明しました。その後は４日間とも二次検定の模擬試験を中心に行い、模擬試験の後に解答の添削、採点･評価など、きめ細かな個人別学習指導も行いました。



2級電気工事施工管理技術検定試験

３年ぶりとなる２級電気工事施工管理技術検定試験の受験準備講習会を９月30日、10月７日、14日、20日、28日の５日間に渡り、４人が参加して建産連研修センターで開きました。

講師は、ケイ・教育企画サポート事務所の小泉一夫氏が務めました。初日はガイダンスとして、資格の概要や検定試験の内容、第一次検定の効果的な学習方法と第二次検定の回答要領を説明し模擬試験を行いました。２日目から講義に入り、２日目は施工計画と工程管理、３日目は品質管理と安全管理、４日目と５日目は法規を学び、それぞれ模擬試験も合わせて行い、模擬試験の後に解答の添削、採点･評価など、実践力を養いました。



こころの健康

Voice

太洋電設工業㈱　代表取締役　浅子　さゆ美

私が社会人になった1990年頃から、IT革命が急速に発展しインターネットや携帯電話が普及しました。職場では手書きからパソコンへ、生活では手紙がメールに、電話注文がネット注文へと便利な世の中へ変わっていきました。その一方で、個人情報の流失やSNSでの誹謗中傷など、ネット上での事件や事故が増加し新たな不安要素が生まれました。そんななか2000年頃から地球温暖化対策の取り組みが始まり、エネルギーの効率化を考え省エネ対策に興味を持ち始めます。若かりし頃は、新しいことに興味を持ち楽しく順応できていました。

あれから約36年。温暖化は進み自然災害が甚大な被害を、遠い国では資源をめぐって争いが起きています。世界の様々な情報が毎日渦を巻き、それを見て、聞いて、考え、良くも悪くも自分解釈で【こころ】に記憶として募らせてしまう。

2020年、世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るい、その影響でオリンピックが延期となりました。その後ロシアのウクライナ侵攻が始まり経済に大きな影響を与え、不安を感じながら目まぐるしく時間が過ぎていくのを感じていました。あれも、これも、それも、どれもやらなくてはいけない。何が本当なのか?何が間違いなのか?何を信用すればいいのか?どうすればいいのか…。皆さんもそう感じませんでしたか?

周りの高齢者を見れば、今でも感染症を気にして出かけることをやめ、急速に進む電子化についていけずイライラして人に当たり、信用信頼が薄れ孤独になっていく。そんな心の病んだ高齢者が増えているように感じます。

2011年に代表に就任して、緊張と不安の多い日々でした。

現役を引退したら…。年相応にゆっくりと、嫌な情報に飲み込まれず、興味ある情報を上手に活用しながら、固くなった脳に刺激を与えて楽しみを見つけ、自分解釈が自然とプラスの思考にできれば、【こころ】穏やかに過ごしていける。と思う、今日この頃です。



人材育成研修会を開催

当協会人材育成委員会では、新たな正副委員長構成となりこれからの委員会の方向性を見据え、９月４日と５日の２日間、軽井沢で研修を行いました。構成員は16名からなる委員会で、年間行事として新入社員研修、新入社員フォローアップ研修、県庁オープンデーにおいて電業協会ブースを設けた展示コーナーで小中学生向けソーラー工作を開催、県立工業高校での出前授業、県主催の現場見学会を共催等の事業を行っています。



中長期的な新人教育について意見を交わしました

今回は、通常の事業から離れて中長期的な会員企業の新人教育に有効な教材や方法および講習等について、出席委員からの意見聴取と情報共有のための協議を行いました。これからの採用活動に有効なSNS活用方法の事例発表、また、採用に特化した事例について活発な意見交換の場となりました。



研修には多くの委員が参加しました

協会のうごき

9月
- 3日　自民党ヒアリング
- 4･5日　人材育成研修会
- 11日　民主フォーラムヒアリング
- 14日　第１回 災害対策図上訓練
- 15日　公明党意見交換会
　　第７回 理事会
- 29日　第３回 正副会長会議
　　第３回 企業対策セミナー

10月
- 6日　職長・安全衛生責任者 能力向上教育
- 9日　災害対策研修会・第３回 事故防止対策委員会
- 20日　県設備課との意見交換会
　　第８回 理事会
- 24･25日　登録電気工事基幹技能者認定講習

11月
- 4･5日　工作物石綿事前調査者講習
- 6日　三県連絡会議
- 9日　令和８年度 中間監査
- 14･15日　会員交流大会
- 16日　移動可能な木造建築見学会
- 17日　第９回 理事会
- 23日　技-1グランプリ
　　～埼玉“高技専”まつり～出展
- 27日　第２回 技術講習会

埼玉県認定職業訓練事業	
第一種電気工事士試験（筆記）受験準備講習会	9月3・10・17・24日
1級電気工事施工管理技術検定試験（二次）受験準備講習会	9月18・25日、10月2・9日
2級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会	9月30日、10月7・14・20・28日
第一種電気工事士試験（技能）受験準備講習会	10月16・23・30日、11月6・13日
足場の組立て作業主任者技能講習	10月26・27日
高圧・特別高圧電気取扱者特別教育	11月19・20日

（一社）埼玉県電業協会会員　支部長◎　副支部長○

さいたま支部（17社）
- 浦和電気工事㈱（南区）
- ㈱エルテックコーポレーション（見沼区）
- 大塚電設㈱（浦和区）
- ㈱岡村電機（緑区）
- 毛塚電気工事㈱（大宮区）
- 埼玉田中電気㈱（南区）
- 埼玉電設㈱（中央区）
- 栄電業㈱（上尾市）
- 新生電気工事㈱（見沼区）
- ㈱積田電業社（浦和区）
- ○中村電設工業㈱（岩槻区）
- ㈱蔵島電機（大宮区）
- ㈱万代電気工業（桜区）
- ㈱松岡電気工業（桜区）
- ○㈱丸電（西区）
- 瑞穂電設㈱（北区）
- ◎㈱八洲電業社（北区）

東部支部（15社）
- ㈱内田電気商会（久喜市）
- ㈱大久保電気（越谷市）
- 倉持電気㈱（三郷市）
- 三光電気工事㈱（上尾市）
- ㈱三進電気工事（上尾市）
- 島村電業㈱（上尾市）
- 正和工業㈱（春日部市）
- ◎㈱新電気（三郷市）
- ㈱大広電気（八潮市）
- 太洋電設工業㈱（越谷市）
- ㈱高岡電気工業（松伏町）
- ニチデン技術サービス㈱（北本市）
- 深井電気㈱（北本市）
- ○富士電気工業㈱（北本市）
- ㈱弓木電設社（白岡市）

西部支部（20社）
- ◎飯島電器工事㈱（川越市）
- ㈱市之瀬電設（志木市）
- ㈱ウェーブゼンケン（入間市）
- ㈱大庭電気商会（川越市）
- ㈱岡島電気商会（川越市）
- ○㈱おぎでん（川越市）
- 木下電機㈱（入間市）
- クマタ㈱（狭山市）
- ㈱三共電気商会（和光市）
- ㈱関根電気商会（川越市）
- ㈱電成社（川越市）
- ㈱中村電気（新座市）
- 橋電㈱（所沢市）
- ㈱橋本電工（所沢市）
- フジヤ電気工事㈱（川越市）
- ○㈱北産電設（所沢市）
- ㈱まつもと電機（和光市）
- ㈱明電社（川越市）
- ㈱ヤマスズ（飯能市）
- ㈱ヤマト･イズミテクノス（ふじみ野市）

南部支部（6社）
- ◎内山電設㈱（川口市）
- ㈱佐久間電設（川口市）
- ○佐野電機㈱（川口市）
- 三位電気㈱（川口市）
- 高山電設工業㈱（川口市）
- 那須電機工業㈱（川口市）

北部支部（15社）
- イーテクノス㈱（熊谷市）
- ◎㈱イートラスト埼玉（行田市）
- ㈱内村電気（深谷市）
- ㈱エコー（深谷市）
- 共和電機㈱（秩父市）
- 熊谷電機㈱（熊谷市）
- ○㈱栗原電機（深谷市）
- 霜田電気㈱（皆野町）
- 中外電気工業㈱（深谷市）
- ㈱東電工業社（熊谷市）
- ㈱長井電機（熊谷市）
- ㈱沼尻電気工事（深谷市）
- ㈱早川電工（鴻巣市）
- 松山電設㈱（東松山市）
- ㈱躍進電気（深谷市）



最新の資材・労務単価を 大野知事や関係部局に要望書

8月27日、当会と（一社）埼玉県設備設計事務所協会、（一社）埼玉県空調衛生設備協会の建築設備関連３団体は県庁を訪れ、大野元裕知事や関係部局長に要望書を手渡しました。

３団体を構成する地元の設備関連企業の経営安定化や将来を担う若手技術者育成の観点からも、今後も分離での工事発注を求めるとともに、最新の資材価格と労務単価を迅速かつ的確に反映した予定価格の設定を要望しました。

３団体は大野知事の他にも、小島茂県土整備部長、中村克都市整備部長らも訪れ、要望書を手渡すとともに意見を交わしました。



大野知事に要望内容を説明する積田会長